

望海(のぞみ)NEWS

Vol. 5

発行 令和4年5月
望海台自治会交通システム委員会

望海台コミュニティバス 望海(のぞみ)

実証運行の結果をお知らせします

令和4年1月14日(金)から3月31日(木)までの52日間、1台の車両に複数の利用者が乗り合うことにより、効率的な運行ができるデマンド型乗合タクシーの特性を踏まえ、乗合率1.5を目標として、実証運行を実施しました。

実証運行の結果概要

	合計	1月	2月	3月
運行回数	32回	7回	10回	15回
利用者数	52名	13名	15名	24名
乗合率	1.63	1.86	1.50	1.60

◆予約システム登録者数：27名

◆予約システム利用率：100%
(予約件数に占めるWeb予約の割合)◆収支率：57%
(運行経費に占める運賃収入の割合)

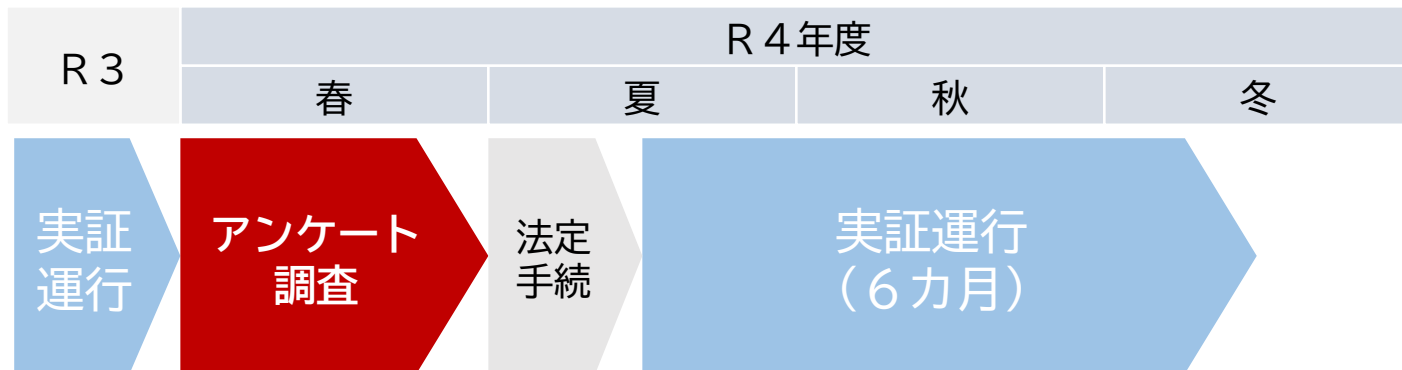
利用者数は少ないものの、目標である乗合率1.5を達成する等、需要に見合った適正な運行形態で効率的な運行が実現できています。

望海(のぞみ)の更なる定着を図るため、運行内容を見直し、

令和4年度も実証運行を実施します。

今後の取り組みの流れ

実証運行の結果を踏まえ、この度実施する実証運行に対するアンケート調査を踏まえ、一部運行内容を見直し、令和4年夏ごろに再度、試験運行（6カ月）の実施を目指します。



別途、同封しているアンケート調査用紙に回答をお願いします。

望海台自治会交通システム委員会

望海台自治会交通システム委員会とは、望海台地域の生活交通の課題を検討し、地域の実情に応じたコミュニティ交通「望海（のぞみ）」の導入を目指して、望海台自治会役員会の合意形成を踏まえて設立された組織です。このたび望海台自治会の第59期（令和3年度）定期総会にて委員会の設置が承認され、第60期（令和4年度）の新体制も発足しました。

望海台地域の代表窓口として、神戸市の「地域コミュニティ交通支援制度」を活用し、関係者による定期的な検討会を開催する等、引き続き、取り組みを進めていきます。

なお、定期的な会合や取組内容にご興味のある方は右記の問い合わせ窓口までお問い合わせください。

<問い合わせ窓口>

氏名	役職	連絡先
川名 茂樹	委員長	080 - 3973 - 8467
大川 孝実	委員	090 - 1151 - 8660
岩本 徹	委員	090 - 1673 - 0496
野口 悟史	委員	090 - 7992 - 1169

運行内容見直しのためのアンケート調査

令和4年度の実証運行に向けて、望海 (のぞみ) の運行内容を見直すため、アンケート調査を実施します。皆さんのお声をお聞かせください。

回答期限：令和4年5月15日 (日)

提出先：望海台自治会 各班長宅ポスト

問1 望海 (のぞみ) を利用した？

利用した →問3へ

利用していない →問2へ

(問1で利用していないと答えた方にお聞きします。)

問2 利用しなかった理由はなんですか？ (複数回答可)

目的地まで自力で行けるから イオン・塩屋駅に用事がないから

午前中に便がないから 予約が手間だから

Web予約が難しいから 電話予約だと割引がないから

感染対策が不安だから 他人と乗り合うことが不安だから

その他 ()

問3 望海 (のぞみ) の運行に望むことはなんですか？ (複数回答可)

イオン・塩屋駅以外の目的地への運行

午前中の運行

午後 (17時台) の運行

Web予約システムの改善 (具体的に)

その他 ()

問4 上記のとおり運行改善された場合、どの程度利用しますか？

毎日 (往復利用) 毎日 (片道利用)

毎週定期的に (往復利用) 毎週定期的に (片道利用)

毎月定期的に (往復利用) 毎月定期的に (片道利用)

必要に応じて (往復利用) 必要に応じて (片道利用)

問5 自由記入欄

()